

令和元年度第1回呉市教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））選定委員会 会議録

日 時	令和元年6月27日（木）15：30～16：30		
場 所	呉市役所2階 201・202会議室		
参加者	選定委員会	呉市立中学校長会長	細川 司（安浦中）
		保護者代表	山本 浩司 脇原 園美
		学識経験者	吉長 成恭
		校長	大平 栄子（両城中） 藤原 敏宏（広中央中） 久保 好寛（白岳中） 土井 忠則（東畑中） 竹上 和徳（呉中央中） 野崎 倫子（郷原中） 九十九 尚志（横路中） 松田 光弘（警固屋中） 湊 和昭（阿賀中） 坂田 恭一（広南中） 仙田 雅俊（和庄中）
	教育委員会事務局	教育部長	小川 聡
		学校教育課長	高橋 伸治
		学校安全課長	棚田 隆志
		学校教育課主幹	安部 ほずみ
		学校教育課主査	久保 由佳利
		学校安全課主査	森島 隆
		学校安全課主査	伊藤 賀世
		学校教育課主任指導主事	香川 千恵
		学校教育課指導主事	藤井 眞實
		学校教育課指導主事	宮田 剛
傍聴者	森尾 敬介（教育委員） 船尾 慎（教育委員） 佐々木 元（教育委員） 小谷 眞喜子（教育委員）		
内 容	1 令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の採択の手順及び選定委員会の任務等について 2 議事 （1）委員長及び副委員長選出 （2）教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の調査・研究の観点等について		

委員長選出までの司会を香川主任指導主事が行うこととし、委員会は定刻に始まった。

◎ 呉市教育委員会小川教育部長の挨拶

- ・教科用図書の採択について
- ・教科用図書採択に係る誤記等と改善策・選定委員の役割について
- ・情報の公開について

1 令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の採択の手順及び選定委員会の任務等について、資料に基づき、香川主任指導主事が説明をした。

2 議事

**（1）委員長及び副委員長選出**

委員長及び副委員長の選出を行った。立候補者がなかったため、事務局から中学校長会長の細川校長を委員長に、保護者代表の山本さんを副委員長に推薦があり、承認された。

## (2) 教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の調査・研究の観点等について

司会を委員長に交代し、教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の調査・研究の観点等についての議事に入った。

### ◎ 事務局の説明（5つの観点について）

安部主幹が、調査・研究委員会に示す各教科の観点について、広島県教育委員会が定めた「平成32年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択基本方針について」に準じて作成し、広島県教育委員会が示す5つの観点と同一のものとすると説明した。

### ◎ 5つの観点についての質疑・応答

なし

### ◎ 国語の説明（調査・研究の視点と方法について）

大平校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【国語】」に基づき、説明を行った。

### ◎ 国語についての質疑・応答・意見交流

なし

### ◎ 書写の説明（調査・研究の視点と方法について）

大平校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【書写】」に基づき、説明を行った。

### ◎ 書写についての質疑・応答・意見交流

なし

### ◎ 社会（地理的分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）

#### ・藤原校長

社会科の4つの種目については、種目全体にかかわることと、諮りたいことがあるため、順番を入れ替えて、歴史的分野の説明からさせていただきたいが、いかがか。

#### ・細川校長

よろしいか。

（承認）

#### ・細川校長

それでは、社会（歴史的分野）から先をお願いします。

### ◎ 社会（歴史的分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）

藤原校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（歴史的分野）】」に基づき、説明を行った。

### ◎ 社会（歴史的分野）についての質疑・応答・意見交流

#### ・藤原校長

観点1【基礎・基本の定着】の説明において、一つ目の観点の視点②においては、平成27年度の採択の時に特に多くのミスを生じた部分である。あくまでも「基礎・基本の定着」という観点で、どのような人物がどのくらい記載されているかということは調査すべきとは思いますが、前回のように、参考までにという考えから、人物名を一人一人全て記載するという事は、調査・研究の内容に、あまり必要ないと考える。

そこで、今回は人物名を全て拾い上げることは必要ない旨を調査・研究委員会に伝え、調査・研究を依頼したいと考える。後でお諮りしたい。

#### ・細川校長

社会（歴史的分野）の視点・方法について、御意見があればお願いします。

#### ・九十九校長

先程の人物の記載についてであるが、どのような人物がどのくらい掲載されているかというこ

とを調査・研究することは必要であると考えているが、個々の人物名を報告書に書き出すことは、あまり意味がないと考える。参考までにとという考えであれば、報告書に個々の名前を載せる必要はないと思う。

・細川校長

関連して何かないか。

・土井校長

私も、事務局から分かりやすい資料づくりの方向性でということも聞いている。そのような意味からも誰が見ても分かりやすく、簡潔明瞭な資料づくりがますます必要になってくると思うので、一人一人名前を挙げてということまで必要ないと思う。

・細川校長

その他よろしいか。視点②のところは、人物名について一人一人を挙げるという形ではないということでもよろしいか。

(承認)

◎ 社会（地理的分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）

藤原校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（地理的分野）】」に基づき、説明を行った。

◎ 社会（地理的分野）についての質疑・応答・意見交流

なし

◎ 社会（公民的分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）

藤原校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（公民的分野）】」に基づき、説明を行った。

◎ 社会（公民的分野）についての質疑・応答・意見交流

なし

◎ 地図の説明（調査・研究の視点と方法について）

藤原校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【地図】」に基づき、説明を行った。

◎ 地図についての質疑・応答・意見交流

なし

◎ 数学の説明（調査・研究の視点と方法について）

久保校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【数学】」に基づき、説明を行った。

◎ 数学についての質疑・応答・意見交流

なし

◎ 理科の説明（調査・研究の視点と方法について）

土井校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【理科】」に基づき、説明を行った。

◎ 理科についての質疑・応答・意見交流

なし

◎ 音楽（一般）の説明（調査・研究の視点と方法について）

竹上校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（一般）】」に基づき、説明を行った。

◎ 音楽（一般）についての質疑・応答・意見交流

なし

- ◎ 音楽（器楽合奏）の説明（調査・研究の視点と方法について）  
竹上校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（器楽合奏）】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 音楽（器楽合奏）についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 美術の説明（調査・研究の視点と方法について）  
野崎校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【美術】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 美術についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 保健体育の説明（調査・研究の視点と方法について）  
九十九校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【保健体育】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 保健体育についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 技術・家庭（技術分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）  
松田校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【技術・家庭（技術分野）】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 技術・家庭（技術分野）についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 技術・家庭（家庭分野）の説明（調査・研究の視点と方法について）  
湊校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【技術・家庭（家庭分野）】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 技術・家庭（家庭分野）についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 英語の説明（調査・研究の視点と方法について）  
坂田校長が資料「教科用図書の調査・研究の観点等について【英語】」に基づき、説明を行った。
- ◎ 英語についての質疑・応答・意見交流  
なし
- ◎ 全体を通して
  - ・細川校長  
社会（歴史的分野）の視点②の「歴史上の人物に関する事例数と具体例」の箇所で、人物名を挙げないということで、話し合ったが、その他いかがか。  
(なし)
  - ・細川校長  
それでは、教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。))の観点等については、原案どおりとする。ただし、これまでの意見を受け、社会（歴史的分野）の調べ方については、本日協議した内容で調査・研究委員会に示すということでよろしければ、拍手をお願いします。  
(拍手)

・細川校長

これについて、承認されたとみなす。

最後に、一点、皆さんにお諮りする。冒頭、事務局からの説明にもあり、【資料2】の採択手続にも示されているが、この度の採択は、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査・研究の内容等を活用すること、とある。この点を踏まえた調査・研究をするように調査・研究委員会に依頼する必要があると思うが、いかがか。

(異議なし)

それでは、現在使用している教科用図書についての使用実績を調査し、全ての視点でなくてよいので、2つか3つ顕著な視点に使用実績を記載しておくよう、調査・研究委員会に依頼することとする。よろしくお願ひしたい。

では最後に、本日来ていただいた学識経験者代表の吉長先生、保護者代表の山本様、脇原様から、御意見をいただきたい。

・吉長教授

先生方には、御多忙のところ、調査・研究の重責を担っていただくことに改めて感謝する。よろしくお願ひする。冒頭に小川部長からあったが、平成28年度に改善策が出ており、一度失墜したイメージはなかなか信頼が回復しにくいものであり、今回引き続き適正で公正で、なお分かりやすい報告書を作成していただくよう、よろしくお願ひする。

三つ目であるが、子供達への教育としては、中学校を出て社会へ出る子供達もいるだろうし、色々な進路をもって高校に進む子供達もいると思う。例えば個人的には、インターネット高校に興味をもっている。知人が理事長をしているが、平成26年度に開校したインターネット高校の学生数が3000人、この5月には1万人を超えている状況で、多様な高等学校の教育システムが出てきているように思う。いずれにしても、子供達が多様な進路に進む場合も、最終の義務教育である中学校教育において個人の人格形成に寄与するという大局をもって教科用図書の選択業務を担っていただきたい。

特に、観点の中で、興味深いことは、「主体的に学習に取り組む工夫」という観点があるが、よく問題解決型(PBL)も大事だが、もう一方、子供達の興味を生かしていく、英語にするとIOL(Interest-Oriented Learning)という、課題の解決になるような興味を引き出すような教育に寄与する教科用図書を選定していただければと個人的には思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

・山本保護者代表

子供達が小学校から中・高での学びの中で、連携をもって進めていく、中学校の授業を受けることで、多岐にわたる進学、さらに上の学校へ行くという進学の目標になるように、中学校の中で目標をもって子供達が目指す高校に自分達で主体的に決めていく、色々な方法で活躍できる場を設ける重要な時期であるので、これから教科用図書の選定をよろしくお願ひしたい。

・脇原保護者代表

皆さんが言われていたように、受け身の授業でなく、自分から飛び込んでいく、自分も参加する授業が行えるような様々な教科用図書を選定していただけるよう、調査・研究をお願ひしたい。

◎ 閉会

香川主任指導主事が次回の予定等について確認して、会を終了した。

令和元年度第2回呉市教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））選定委員会 会議録

日 時	令和元年8月8日（木）13:00～16:30		
場 所	呉市役所7階 755～758会議室		
参加者	選定委員会	呉市立中学校長会長	細川 司（安浦中）
		保護者代表	山本 浩司 脇原 園美
		学識経験者	吉長 成恭
		校長	大平 栄子（両城中） 藤原 敏宏（広中央中） 久保 好寛（白岳中） 土井 忠則（東畑中） 竹上 和徳（呉中央中） 野崎 倫子（郷原中） 九十九 尚志（横路中） 松田 光弘（警固屋中） 湊 和昭（阿賀中） 坂田 恭一（広南中） 仙田 雅俊（和庄中）
	教育委員会事務	学校教育課長	高橋 伸治
		学校安全課長	棚田 隆志
		学校教育課主幹	安部 ほずみ
		学校教育課主査	久保 由佳利
		学校教育課主任指導主事	香川 千恵
		学校教育課指導主事	浜本 愛子
傍聴者	森尾 敬介（教育委員） 佐々木 元（教育委員）		
内 容	1 第1回選定委員会の協議結果についての確認 2 調査・研究委員会についての報告 3 議事 ・総合所見の案について		

◎ 開会

浜本指導主事が会を始めた。

1 第1回選定委員会の協議結果についての確認（進行：選定委員長 細川校長）

・安部主幹

まず、第1回の選定委員会の協議結果について確認する。協議内容は、委員長及び副委員長選出と教科用図書の調査・研究の観点等についての2点であった。

1点目について、委員長には、細川校長が、副委員長には保護者代表の山本さんが選出され、決定した。

2点目の教科用図書の調査・研究の観点等について、調査・研究委員会に示す観点について「広島県教育委員会が示す5つの観点と同一のものとする」と提案し、議決された。

調査・研究の視点及び方法について、いろいろな質問や意見が出され、「原案通り調査・研究委員会に示す」ということで議決された。

また、7月3日（水）に開催した第1回調査・研究委員会において、この観点、視点、方法及び第1回の選定委員会で皆が協議した内容は、選定委員の校長から、委員の先生方に説明された。

◎ 協議結果についての質疑・応答

特になし

2 調査・研究委員会についての報告（進行：選定委員長 細川校長）

・安部主幹

まず、本選定委員会が調査・研究を依頼している調査・研究委員会について報告する。「令和元

年度第2回呉市教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。)) 選定委員会一資料一」2ページの資料2「令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。))の採択手続について」の「3 日程」。5月から8月のところにあるように、これまでに、調査・研究委員会を2回開催した。

第1回の調査・研究委員会は、7月3日（水）に開催した。

はじめに、教科用図書の採択の手順及び調査・研究委員会の任務等の説明を行った。その後、各部会で、選定委員の校長が、選定委員会で決定した観点等について説明した。そして、報告書を作成するための調査・研究の進め方を説明し、役割分担を行った。

第2回の調査・研究委員会は、地図、技術・家庭（家庭分野）、英語の3種目以外の種目は、予定通り7月31日（水）に開催した。各種目の部会代表の申し出により、地図については、7月16日（火）、技術・家庭（家庭分野）については、7月18日（木）、英語については、7月26日（金）に開催した。第2回では、各委員が役割分担した箇所を調査・研究した内容について全体に報告し、協議した上で、加筆・修正する作業を行った。そして、視点ごとに主担当と副担当で誤字・脱字等のチェックを行い、作業を完了した。

その後、8月1日（木）、選定委員長細川校長に報告書が提出された。その報告書をもとに、選定委員会各部会代表の校長が作成したものが「総合所見（案）」である。この後、各部会代表の校長が提案する。

◎ 報告についての質疑・応答

特になし

3 議事（進行：選定委員長 細川校長）

・総合所見の案について

◎ 各自で資料を読んだ。（13時25分まで）

◎ 国語の説明

大平校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ 国語についての質疑・応答・意見交流

特になし

◎ 書写の説明

大平校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ 書写についての質疑・応答・意見交流

特になし

◎ 社会（地理的分野）の説明

藤原校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ 社会（地理的分野）についての質疑・応答・意見交流

特になし

◎ 社会（歴史的分野）の説明

藤原校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ 社会（歴史的分野）についての質疑・応答・意見交流

・竹上校長

説明の中で、育鵬社によい特徴が多いとあったが、実際に使ってみたよさを教えていただきたい。

・藤原校長

調査・研究結果では、視点④「興味・関心を高めるための工夫」において、「呉市に関連する資

料が2点あり、小学校の学習内容を生かして、中学校の授業の導入等に使用することで、小中のつながりを意識して授業することができている。」、視点⑤「見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫」において、「各章のはじめに、『歴史絵巻』があり、小学校の学習内容を振り返りながら、授業の導入を行うことで、生徒の興味・関心を高めることができる。」と報告を受けている。

◎ **社会（公民的分野）の説明**

藤原校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **社会（公民的分野）についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **地図の説明**

藤原校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **地図についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **数学の説明**

久保校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **数学についての質疑・応答・意見交流**

・坂田校長

観点3について、学図は「次節につながるような問い」が設けられているとあるが、その重要性、実際に使ってみた教師や生徒の反応を教えてください。

・久保校長

1つのことを理解して終わりではなく、「もっと学びたい」といった学習意欲を高めていく上で重要だと考えており、調査・研究においては、「本時で学習した内容が次時の授業にどのようなつながっているのかを考える視点を与える吹き出しになっており、生徒のみならず、経験年数の少ない先生にとっては大変参考になった。」と報告を受けている。

◎ **理科の説明**

土井校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **理科についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **音楽（一般）の説明**

竹上校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **音楽（一般）についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **音楽（器楽合奏）の説明**

竹上校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **音楽（器楽合奏）についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **休憩（10分間）**



◎ **美術の説明**

野崎校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

・野崎校長

まず、「総合所見（案）」の訂正をお願いしたい。観点1の開隆堂、5ページから13ページに、光村26ページから48ページに、日文5ページから23ページに訂正をお願いしたい。

◎ **美術についての質疑・応答・意見交流**

特になし

・野崎校長

「総合所見（案）」の訂正についての補足をさせていただくと、掲載されているページ数は、2、3年生のものであり、3年間全体のものにするため、訂正をお願いした。

◎ **保健体育の説明**

九十九校長が資料「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **保健体育についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **技術・家庭（技術分野）の説明**

松田校長が「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **技術・家庭（技術分野）についての質疑・応答・意見交流**

・湊校長

観点4について、開隆堂は、「工具や道具の使用方法について矢印が記載されている。」、東書は、「体の動きの流れが連続写真で示されている。」とあり、どちらも生徒にとって理解しやすい工夫があると思うが、もう少し説明をお願いしたい。

・松田校長

技術分野において、生徒の実態を考えると、技術分野で使う工具や道具を一度も見たことがない生徒が多い。東書は体の動かし方は分かるが、方向までは分かりにくく、一方、開隆堂は、「右に回す」「左に回す」などといった矢印が視覚的に示されており、初めて工具を使う生徒にとって理解しやすいと考えた。

◎ **技術・家庭（家庭分野）の説明**

湊校長が「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **技術・家庭（家庭分野）についての質疑・応答・意見交流**

特になし

◎ **英語の説明**

坂田校長が「総合所見（案）」に基づき、説明を行った。

◎ **英語についての質疑・応答・意見交流**

・久保校長

観点2「主体的に学習に取り組む工夫」について、開隆堂と三省堂に、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための工夫がある。」と記載されているが、その具体の説明と実際に三省堂の教科書を使ってみてどうだったか教えていただきたい。

・坂田校長

三省堂の1年生の教科書94、95ページを開いていただきたい。そこには、「USE・Speak」と称し、Step1で会話のモデル文を確認し、Step2で会話の流れを考え、Step3でペアでの会話が仕込まれている。さらに右側のページでは話題を変えて、自己表現できる場を設定し、積極的にコミュニケーションを図りたいと思わせる工夫がある。この教科書では、この単元以降3年生まで、話すことや書くことといった自己表現する場が多く設定されており、特徴のひとつと考え

ている。

例えば、94ページの中ほどに「Idea Box」があり、生徒が話したり書いたりする活動を行う際、語彙が多く紹介されたり、日常的に使う表現が繰り返し登場したりすることで活用しやすく、定着させやすいといった内容が調査・研究の報告にあがっている。

## ◎ 全体を通して

### ・ 吉長教授

本日は、ダイジェスト版で説明していただいた。大変な御苦勞もあったかと思うが、調査・研究を丁寧にしていただいていることに感謝する。

A3の資料について、2点お諮りしたいことがある。1点目は、A3資料12ページ大修館の記載にある「チャレンジ」のアルファベット表記とA3資料14ページの東書の「リヒューズ」の記載について確認していただきたい。

### ・ 山本保護者代表

多くの教科書等を見ていただき、調査・研究をしていただき、感謝する。子供たちにとって分かりやすく、教師が教えやすい教科書であると、子供たちの学習意欲も向上すると考える。新学習指導要領にも対応して、子供たちを育ててほしい。

### ・ 脇原保護者代表

教科書を選定していく過程を知り、頭が下がる思いである。生徒に分かりやすく、教師が伝えやすい教科書が大切だと考える。英語は、親しみやすさや学習の流れが教科書を見て分かることが重要だと感じた。

## ◎ 総合所見の案を基に、教育長に報告することについて確認

### ・ 細川校長

それでは、「特別の教科 道徳」を除く、中学校教科用図書の総合所見について、次の3点を加筆・修正して、教育長に報告する。

1点目は、「総合所見（案）」11ページ、観点1の開隆堂、5ページから13ページに、光村26ページから48ページに、日文5ページから23ページに訂正。

2点目は、「総合所見（案）」12ページ大修館の記載にある「チャレンジ」と「トライ」のアルファベット表記を半角に訂正。

3点目は、「総合所見（案）」14ページの東書、教図の「リヒューズ」の記載について修正。

よろしければ、拍手をお願いする。

教育長に報告することについて、承認を得る。

## ◎ 閉会

浜本指導主事が会を終了した。